

理研会報

発行
部 研 理 科 研 教 研
局 務 事
成 田 市 立 成 田 小 学 校
成 田 市 幸 町 9 4 8 - 1

作品展に向けて

今年はどうな作品が出品されるか、とても楽しみです。しかし、先生方の中には、どんなことを指導したらよいのかなど、悩んでいる方もいることでしょう。平成二年度に行われた、県作品展での講評を載せてみました。児童、生徒への指導の方向性を持っていたらと思います。

平成二年度 千葉県科学論文展(小学校部門)

審査委員長

千葉市立長作小学校校長

白鳥鉄朗先生

千葉県の子どもの科学研究は、全国的に高い水準にあると、評価されています。皆さんの研究は、その千葉県総ての小学校の中から特別に選ばれたものだけに、優秀な研究がたくさんあり、賞を決めるのに、審査員の先生方は大変苦労いたしました。審査の中で気がついたことを、いくつかお伝えします。

1. 研究は、学校での学習を基本に発展させたもの、日常生活の中で「不思議だ」「なぜだ」と気づいたこと、また環境などの社会的課題について、子どもらしい新鮮な目と発想で研究を進めています。ているもの、必要ではない内容のもの

平成二年度 千葉県科学論文展(中学校部門)

審査委員長

千葉大学名誉教授

鈴木健二先生

ものがまとめられております。もと研究の対象を絞って、深く追及してもらいたいものです。そして、自分の観察・実験で得たデータを大切に、それを基にした「解釈」「推論」「結論」に心がけて下さい。また、生物に関する研究が多くありますが、他の分野の問題にも取り組んで欲しいと思います。

平成二年度 千葉県科学工夫作品・自作教員部門

審査委員長

千葉大学教授

砂田淳二先生

受けられました。

2. 図表のかき方ですが、縦軸と横軸との単位がはつきりとかいておらないために、この図表が何を意味しているのか判断に苦しむものがいくつかありました。

3. 誤字、脱字がやはり依然としてまだ多いようです。いつでもあやしいと思ったら、辞書を必ず引く態度を身につけてください。

人間は自分の身の回りのこと、自然に接したときに「これは不思議だな」「これはおかしいな」あるいはまた「これはどうしてこうなったんだろう」という疑問を持つわけですね。これは、いわゆる知的好奇心というものです。人間が新しい体験や新しい知識を獲得していくときの出発点になる大事なものです。皆さんは自発的に、誰にも強制されることなく知的好奇心を発揮して、長い間観察をしたり記録したりしてきました。そういうことは、人類が新しい知識を求め発展させていく原動力になっているわけです。(一部省略)

最後に注意しておきたいことが三点ほどあります。

1. 自分でしたこと、他人から引用したものをはつきりと区別が出来ておられないものが、すこし見

してもよくしようといういろいろな努力をされて考えられた。その時、た先生方、多数の優れた作品があり、今までない新しい着想が生まれて、発想豊かな作品が出来た。皆様方々多数の優れた作品が応募されるは、そういう貴重な経験をされたよう、お願いします。

こんな所に行ってみては

夏休みまで、あと二週間あまりになりました。今年の計画はいかがですか。

近場にも、素晴らしい施設があったり、普段はあまり観る機会のない施設などがあります。その一つを紹介したいと思います。

千葉市立中央図書館

利用案内

交通

開館時間
午前9時～午後4時30分
(入館は午後4時まで)

バス
JR千葉駅・千葉みなと駅より、
「大学病院」行き、または
「矢作市営住宅」行き
「中央図書館」下車徒歩5分

休館日
毎週月曜日
(休日の場合は火曜日)
年末年始
(12月26日～1月4日)

入館料
無料
(特別展会期中は会場に限り有料)

